

2019 年夏出発

ロータリー青少年交換学生募集

以下の応募資格を満たす学生
なら、誰でも応募できます！

(1) 第 2780 地区内に現住所
又は通学先があること

(2) 2019 年 8 月の出発時に
高校生であること

(3) 日本国籍者であること



© Rotary International

費用負担と現地サポート

現地での滞在費用と学費はロータリーが負担します。
留学先ではカウンセラーのサポートがあり、通学高校とホスト
ファミリーはロータリーが責任を持って手配します。

留学国と期間

① 留学国 ※2018-19年度実績、変更の可能性あり。
アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、ドイツ、フランス、
イタリア、ハンガリー、台湾（9ヶ国）

② 留学期間
2019年8月～2020年7月（11ヶ月以上1年未満）

選考ステップ

① 応募

最寄りのロータリークラブへ申請書類を提出し、2018年10月12日(金)までに面接を受けて、推薦を得る。

② 選考試験

2018年11月10日(土) 筆記試験
※作文、数学、英語
2018年11月11日(日) 面接試験

会場：第一相澤ビル（藤沢駅南口すぐ）

国際ロータリーとは・・・

1905年にシカゴで創設されてから110年以上、さまざまな職業をもつ人や市民のリーダーが会員となり、その経験と知識を生かして社会奉仕活動や人道的活動に取り組んできました。ロータリーの会員は毎日、世界のどこかで活動しています。
※第2780地区とは、神奈川県西部（横浜市・川崎市を除く神奈川県全域）を指します

ロータリークラブとは・・・

世界各地のロータリークラブは、地元根ざして活動しています。クラブの会員（通称「ロータリアン」）は、交流やボランティア活動を通じて視野を広げ、会員同士の友情や地域社会との絆を培っています。

ロータリー青少年交換とは・・・

世界100カ国以上で実施されているロータリー青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、15～19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら海外に友人を作り、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。

応募に関するお問い合わせ・申込先

国際ロータリー第2780地区ガバナー事務所

〒251-0055 神奈川県藤沢市南藤沢22-7-501

TEL：0466-25-8855 Email：g-office@rid2780.gr.jp

申請書ダウンロード等はこちらから⇒ <https://rid2780.gr.jp/>

〔住所〕

〔電話〕

〔Email〕

ロータリークラブ

よくある質問

Q1. 留学国は選べますか？

A. 希望は伺いますが、最終的な決定はロータリーが行います。滞在都市の希望は出せません。

Q2. 自己負担分には、どんな費用が含まれますか？

A. 現地までの往復旅費、ビザ申請費用、傷害／健康保険料、その他、留学前の研修・準備にかかる費用はご負担頂きます。また、留学先での衣類や日用品は各自でご用意ください。

Q3. 選考試験の倍率、過去問題は参照できますか？

A. 過去の試験に関する情報は開示しておりませんが、筆記試験は高校入試程度の問題です。

Q4. 交換留学ということは、相手国の学生にホームステイ先を提供する必要がありますか？

A. 強制ではありませんが、要請があった場合はホストファミリーをして頂けると幸いです。

【その他】

- ✓ 最寄りのロータリークラブは、当地区ウェブサイト (<https://rid2780.gr.jp/activity/index.html>) よりご確認の上、クラブ事務局へご連絡ください。※例会場に連絡をしないよう、ご注意ください。
- ✓ 留学中は、ロータリークラブより毎月本人に若干額（1万円程度）の小遣いが支給されます。
- ✓ 1年以上滞在することはできません。個人の都合で早く帰国することも、原則許されません。
- ✓ 食事と滞在先は、留学先のロータリークラブにより提供されます。通常3～4ヶ月毎にホストファミリーが変わり、相手国の風俗・習慣を学びながら生活をします。

【選考試験について】

推薦ロータリークラブより申請書類が提出されましたら、国際ロータリー第2780地区より志願者へ直接、選考試験の案内が届きます。

第1日	2018年11月10日（土）午後	筆記試験：小論文（作文）、数学、英語
第2日	2018年11月11日（日）受験番号順	簡単な英会話を含む親子面接
会場	第一相澤ビル（〒251-0055 藤沢市南藤沢22-7）	※結果は数日中に郵送致します。

青少年交換の歴史

ロータリー青少年交換は1920年代、ヨーロッパの少数のクラブの間で始まりました。日本の最初の交換は、第二次世界大戦後の1962年でした。

現在、青少年交換は世界100ヶ国以上で実施されており、当地区は、これまで34年間の歴史で、299名を派遣し、279名を受け入れています。

一度きりの人生、大胆にいこう

スペインのミネルバさんは、青少年交換学生としてカナダに滞在しました。留学前、学業面の遅れを懸念して留学を断念した友人がいたそうですが、彼女は「人生いつでも学校に行けるけど、青少年交換のチャンスは一度だけ」と考えました。

「恥ずかしがり屋の自分を変えたかった」とミネルバさん。「今では新しいことに挑戦し、知らない人とも積極的に話ができます。私は変わったんです」

(www.rotary.orgより)